

第 52 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	宮川ゼミ	チーム名	しげちー
タイトル	Take off the mask? ～貴方の笑顔が見たい～		
テーマ群	a)理論・情報		
メンバー	加賀澤のどか、木下弘己、四方和志、土谷朱菜、山田翔陽		
研究計画内容	<p>【研究背景】</p> <p>世界で COVID-19 が蔓延し、日本では 2020 年 1 月頃から感染者が発見されてから約 2 年半、私達はマスクをつけて生活することが当たり前になった。しかし海外でのマスクの着用率はピーク時に比べ低下している。これに対して、日本でもマスクを外そうとする動きが見られる。最近でも、厚生労働省は「屋外ではマスクは原則不要」というメッセージを発表し話題になっている。しかし、屋外を見渡してもマスクを着用している人がほとんどである。この現状に注目し、どうすればマスクを外す人が増えるのかを研究する。</p> <p>【研究内容】</p> <p>私たちは、マスク生活が当たり前になっている中で、「マスクを外すという選択肢もある」という認識を広めるために研究を進める。方法としては、ナッジを用いる。ナッジとは、選択肢を制限することなく、人のクセを利用して行動変容を促す手法のことである。このナッジを用いて、「社会利得」「社会損失」「自己利得」「自己損失」の 4 種類のメッセージを書いたポスターを作成する。ランダム化比較でこのポスターを見てもらい、回答者の行動変容を分析する。これらの分析で得られた内容を、私達の研究報告として発表する。</p> <p>【期待される成果】</p> <p>私たちの研究で、最もマスクを外したいという効果が出たナッジポスターを、大学内に提示する。「マスクを外す選択肢もある!」ということを知ることにより、自己決定権を侵害することなく、脱マスクを広める効果が期待できる。</p> <p>【参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none">・『マスクの着用について』厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html・『豪雨災害時の早期避難促進ナッジ』独立行政法人経済産業研究所 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/20j015.pdf		